

会 議 録

会 議 の 名 称	弘前市指定管理者選定等審議会
開 催 年 月 日	平成 31 年 1 月 25 日 (金)
開 始 ・ 終 了 時 刻	9 時 00 分 から 9 時 22 分まで
開 催 場 所	弘前市役所 前川新館 4 階会議室
議 長 等 の 氏 名	清藤 憲衛
出 席 者	委員 清藤 憲衛 (会長) 委員 熊谷 幸一 委員 飯島 裕胤 委員 小林 太郎 委員 菊池 励美
欠 席 者	なし
施 設 所 管 部 職 員 の 職 氏 名	(泉野多目的コミュニティ施設) 市民文化スポーツ部長 三浦 直美 市民協働政策課長 佐藤 記一 市民協働政策課長補佐 堀川 慎一 市民協働政策課主幹兼係長 小林 純子 市民協働政策課主事 坂本 千明 市民協働政策課主事 笹田 智史
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	企画課長 澁谷 明伸 企画課情報分析・行革・連携担当総括主幹 蒔苗 元 企画課情報分析・行革・連携担当主事 富田 正史
会 議 の 議 題	案件 1. 泉野多目的コミュニティ施設の指定管理者候補者の選定について

<p>会 議 結 果</p>	<p>泉野町会を泉野多目的コミュニティ施設の指定管理者候補者に選定する。</p>
<p>会議資料の名称</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者候補者選定結果一覧表等（資料1）</li> <li>・指定管理者制度に係る今後のスケジュール（資料2）</li> </ul>
<p>会 議 内 容</p> <p>（発言者、発言内容、審議経過、結論等）</p>	<p>1 開会</p> <p>2 案件</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p> <hr/> <p><b>2 案件</b></p> <p><b>【以下、施設所管部からの説明、質疑等の概要】</b></p> <p><b>（議長）</b> 全体の概要について、事務局の説明を求める。</p> <p><b>（事務局）</b> 資料1は施設所管課において募集の受付を行い、受付終了後、施設を所管する各部に小委員会を設置し、総合評価方式による評価を行ったもので、その結果が記載されている。総合評価方式は評価点が最も高い申請者を選定案とするものとして、100点満点換算で60点を最低基準としており、非公募であっても下回る場合は候補者として選定しないものとしている。なお、選定方法については、非公募となっている。</p> <p><b>（議長）</b> 泉野多目的コミュニティ施設の指定管理者候補者の選定案について、審議を行う。</p> <p>会議の進め方は、担当部からの説明及び質疑を行い、審議することとする。</p> <p>それでは、市民文化スポーツ部から、泉野多目的コミュニティ施設の指定管理者選定案について説明をお願いします。</p> <p><b>（施設所管部）</b> 当施設の指定管理者については、現在指定管理を行っている泉野町会を引き続き指名するものである。</p> <p><b>（申請の概要等について説明）</b> 評価について、小委員会における評点合計の100点満点換算</p>

点は77.6点となった。したがって、泉野町会を指定管理者候補者の選定案として決定した。

**(議長)**

以上の説明について、質問や意見はないか。

**(委員)**

申請書は明確に書かれていて、非常に分かりやすいと思うが、事業計画書における利用者の増加を図るための具体的手法として、「キャンドルナイト」「親子クッキング」とあり、具体的にはどういうことを考えているのか。

**(施設所管部)**

「キャンドルナイト」は自主事業ではなく、冬場の多目的広場の活用法として、宣伝したいという趣旨のものである。「親子クッキング」は、市の健康づくり推進課が実施する事業に、指定管理者が協力するという形で実施するもので、積極的に施設の利用が図られ、市の事業にも協力したいという指定管理者の意向である。

**(委員)**

予算はどうなっているのか。

**(施設所管部)**

「キャンドルナイト」は指定管理者で対応し、「親子クッキング」は市の予算で実施する。

**(委員)**

評価点について、意外に低かった印象を受けたが、評価項目中、「安定的な管理運営が可能となる人的能力」が特に低かった要因は何か。

**(施設所管部)**

点数をつけるにあたって委員の意見として、職員の勤務可能時間を弾力的に運用しているところが、逆に不安定に感じたという意見があったことによるものと考える。

**(委員)**

1週30時間内で対応するという事は、社会保険の適用外で職員を配置していくことだと思うが、事業計画書に職員が対応できない場合は、町会役員がボランティアで対応するとあるが、実態はどうか。

**(施設所管部)**

万が一という場合のことであり、実際にそういう事は発生していない。

**(委員)**

不安定な人員配置ということでは無いということか。

**(施設所管部)**

その通りである。

**(委員)**

要望として、施設に隣接する公園は非常に良く利用されているが、施設の前にある広場はどう使っているのか分からない。地域の住民に、使い方を周知していただき活用を進めてほしい。以前はSLの乗り物を使ったイベントを実施したと思うが、普段から使いやすい広場にしていきたいと考える。

**(委員)**

収支予算の内訳比較における人件費について、市では職員5名とし、指定管理者では職員4名としているが、人数が足りないことは大丈夫なのか。また、職員の給与についてどのように計算されたのか。

**(施設所管部)**

この施設は、もともと職員5名によるシフトで運営していたが、現在は1名欠員の状態で運営している。市では5名の積算で予算を計上しており、今回の申請で指定管理者側は、1名補充するものではなく、現状の4名で対応するとして申請したものであり、現状も特段問題なしと判断している。

職員給与の金額の違いについては、指定管理者側では時間給を少し高めに設定しているほか、利用料金収入が増えるという見込みとなっているので、料金収入増加に伴う職員配置に合わせた人件費となっている。また、施設は利用予約が無い場合は朝9時から夕方5時までとなっているが、予約があれば夜9時まで延長して開館しているほか、市のなかよし会が入っており、開会している時間は必ず職員を配置するとし、利用料金収入の増加は開館時間の延長につながり、そうした部分も考えて職員給与に反映している。

**(委員)**

収入予算において、町会では利用料金が増えるという見込みだが、当初の市の予算見積との考えの違いは、どのようなものか。

**(施設所管部)**

市では、最低ラインとしてこれ以上は下回らないという金額を想定したものであり、指定管理者は利用を図って、市の予算を上回る金額を計画したものである。

**(委員)**

施設の利用調整の考え方について、この施設は稼働率が高い

	<p>が、調整が必要な場合は、ほかの施設を案内するとかはどうか。この施設の管理運営ということでは、利用者の便益を図るということも考えられるのでは。</p> <p><b>(施設所管部)</b></p> <p>現状では、この施設に最も近い施設として、千年交流センターや、少し離れて豊田にあるサンライフ弘前があるが、どうしても施設が利用できない時は、指定管理者同士が連絡を取り合って必要に応じて紹介などを行っている。</p> <p><b>(議長)</b></p> <p>他に質問等がなければ、泉野多目的コミュニティ施設の指定管理者選定案については、妥当であるとしてよろしいか。</p> <p>&lt;委員了承&gt;</p> <p><b>(議長)</b></p> <p>今後の予定について事務局から説明をお願いします。</p> <p><b>(事務局)</b></p> <p>本日の審議をもって、平成31年3月に指定期間が満了する施設の更新手続きにおける指定管理者候補者の選定の審議会を終了させていただく。</p> <p><b>(議長)</b></p> <p>これをもって終了する。</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>会議は非公開である。</p>